

UCI-2 野辺山高原シクロクロスレースレポート

パナソニックレディース 豊岡英子

日時 2012年11月18日

場所 長野県野辺山滝沢牧場

天候 晴れ

結果 **優勝 豊岡英子 (パナソニックレディース)**

2位 宮内佐紀子 (チームヴィエント)

3位 ローラ・ウィンベリー (SPEEDVAGEN CYCLOCROSS TEAM)



UCIポイントが付く国内で2つのレースの1つである野辺山シクロクロス。

1周 2.5km で、牧草地のスラローム、舗装路の緩斜面、四輪バギー用のダートサーキット、畑の中を抜ける泥セクション、林の中にあるコーナーの連続がテクニックを要されるサーキット。

前日までの大雨とは異なり、レース当日は快晴、気温が低いように感じた。

11時からライダーズミーティングに出席し、その後試走へ。

泥区間も乾いてきていて乗車できそうだ。

入念にウォーミングアップし、スタート地点へ。

今回は泥区間や林の中のコーナーが滑るのでタイヤは challenge の GRIFO32 を選択。空気圧は 1.6 に調整。

13時15分スタート。アメリカ人のティナがロケットスタート。

あのスピードはすごい。

しかしあのスピードに対応できなくては海外では置いてきぼりだ。

私はティナの後ろにべた付きで、芝区間の下りで前に出る。

泥区間に突入し、半分くらい過ぎたところで足が重くなった。

とにかく自転車から降りて、ランニングし、舗装路に出た。

そのまま漕いでいると、自転車に異変があると感じ、後ろブレーキを見るとブレ

一キを引っ掛けているワイヤーが外れブレーキが落ちて後輪が回らない。
 皮肉にもピットを過ぎてから気が付いた。
 しかし冷静になり、シケインを越えた所で直そうとするがワイヤーがかからない。
 諦め、ピットまで自転車を担ぎランニングした。
 ピットで自転車を替え、そこから追い上げる。
 一時は5番手まで下がるが、林で1人パスし、スタート地点の芝で2人目をパスする。
 芝の登りを終え、泥区間に入ると一気に前と詰まった。
 泥区間の出口でティナ選手を交わした。
 ピットからは焦らずと声がかかる。
 シケインで宮内選手に追いつき、カフェの前のボコボコした短い登りでローラ選手も交わし1番手に出れた。
 そこからは後ろを振り返る事なく走った。
 路面が悪い所は丁寧に走り、踏める区間はおもいきり踏んだ。
 4周回最終ラップのジャンが鳴り。踏めるだけ踏んだ。
 35秒のタイムギャップがついたので丁寧に走る事を考えながら走り、1番でゴールラインを通り抜けた。
 世界で走るにはUCIポイントが高い順にスタートに並ぶので、絶対に優勝したかったレースなので本当に嬉しかった。
 沢山の皆様のおかげで今日を迎えられています。
 応援ありがとうございました。
 今週の琵琶湖マイアミもがんばります。

使用機材

自転車	パナソニック
ステム	onebyesu
フォーク	onebyesu
ハンドル	onebyesu
ヘルメット	KABUTO
サングラス	adidas eye wear
タイヤ	challenge
サドル	fizi:k
ウェア	パールイズミ
遠征バック	deuter
ケミカル	HOLMENKOL
インソール	sidas



